

ミラノにGENを確保している間は年2ダカット払う事を約束する。フランスに対しては、「今年一杯持ちこたえていたら来年から2ダカット払う」と言うておく。実はこの年に対教皇領戦の区切りが果たたらどちらかの約束は反故にしてもいいかな、と思っていた(笑)

買収によりFLOを陥とされると大変な事になるのでFLOに軍は置かず、セルフスタンドオフで守る事にする。

#### フランス

ミラノからオーストリアを喰おうという話がある。一応即答でOKと言うておく。

配置を眺めて、本国領土はAUSあたりまで崩せそうと判断してのってみることにする。大見栄きって(ミラノの了解済で)TURに進めるのは美味しかったので。

そして外交フェイズに交わされた会話。  
「ミラノさんー、僕達友達だよな」  
「う～ん。そうじゃない」  
「フィレンツェさ～ん、僕達友達ですよな」  
「トモダチぐらいただよ」  
「ヴェネツィアさ～ん、僕の友達は貴方だけですよ～ん？ いない」(爆)

#### ミラノ

オーストリアからVER解散要請が来たのでこれに応じる。東はどうせ手をひくつもりだったので問題無し。と、ここでオーストリアからフランス侵攻を提案される。予定ではもうすこしヴェネツィアにはまっついて欲しかったので困る。実はヴェネツィアと停戦し賠償金を巻き上げていて、MILを買収しようとしているのかもしれない。が、この時点ではらん氏とは利害が一致していると思い、話に乗ることにする。

作戦案は、我が国がフランスに対し共にオーストリアを攻撃しようとして提案し真の作戦を隠蔽する。と同時にそれを理由に軍隊

をオーストリア国境(=フランス国境)へ移動するオーストリアもその危機に対抗するという理由で国境に軍隊を集めフランス領を攻撃できるようにし作戦開始という段取りになる。この作戦はきちんと実行されればうまくいけようが互い裏切られたら即、滅亡なのである意味非常に危険ではあるが、ここはオーストリアを信頼することにする。

#### ナポリ

さて、ROMEを得たのはいいが、問題はカウンター対策。状況から見てナポリ軍に買収がかかる可能性は低いとは踏んでいたが、掛けられるとすればTSの海軍であるのは分かり切っていたので、ROME海軍は避暑もかねて南下。

対トルコは、ここにきて相手の目先を積極的に変えていこうという交渉に切り替えた。効果があるとは思ってなかったが、いろいろなファクターを与えて、迷わせようという意図があった。ちなみに、不戦条約もその一つ。精神安定剤にもなったが(笑)

ああ、トルコよ、裏切らないで！

#### 教皇領

##### 交渉

ヴェネツィアと停戦。FERの陸軍をURBに輸送する事を頼む。フィレンツェよりPERの返還の確約。

##### 結果

フィレンツェ軍とのスタンドオフで軍隊が戻れず。

#### トルコ

ナポリと今ターンの最後に不戦同盟を発表することを取り決める。初めはヴェネツィアが弱った時にナポリと我がトルコが殴り合いを始めるだろうと踏んでいたが、

## 策謀渦巻くイタリア半島の勝者は誰だ？

予想以上にお互いガチガチの布陣であったため、冷戦状態が続き、軍隊維持の資金が増加していくばかりになった。領土は増えないのに～。

……しかし、この段階で教皇様から「ナポリのTSを買収するから、空白になるTSに出ないか？」と言ってくる。ナポリと不戦同盟の約束をした直後だけに迷ったが、「ま、ナポリ軍がいなくなった場所に出るだけだから、戦争はしてないよね～」と、考慮すること(つまりナポリには教えない事)を承諾。

結局、行動フェイズが終わった段階でナポリとの不戦同盟が公表された。

### ヴェネツィア

お互いこれ以上やり合っても共倒れだねということで教皇領と休戦。

取り敢えず、陸の都市を奪還する手段を練り始める。夏の疫病の結果しだいかなという事で、なんとなく流していたらトルコにLAを取られてしまった。

## 1457年夏

疫病：F PIO,A TRE,A COMO

### 行動計画

オーストリア：A TYR S A AUS S,  
A AUS S A TYR S,A CARIN H

フィレンツェ：×A BOL-FLO, ×A SIE-FLO,  
×A ARE-URB,A GEN H,F LS S A GEN H

フランス：A TUR S A SWI S,  
A SWI S A TUR S,A SAV S A TUR S,F GOL H

ミラノ：A MON H,A MIL-COMO,A BER-MIL,  
A MAN H

ナポリ：F PAL H,F GON S F OTR-MES,

F OTR-MES, × F AQU-ANC, × F CAP-ROME

教皇領：(K) 21d TS, × A FER-URB,

× A SPO-ROME, × F ANC-AQU,F TS-NAP

トルコ：A DAL-DUR,F LA C A DAL-DUR,

F ALB S F LA C,F SAR-TS

,F WM S F SAR-TS,F CM S F SAR-TS,

F IS S F CM S

ヴェネツィア：(J) 12d A FRI,F VEN-FRI,

F UA C Papacy A FER-URB,F HER-DAL

疫病が各地に当たるもののあいかわらず各地で戦闘が続けられた。教皇領がナポリ軍を買収してNAPに突入したことを除けば変化は無かった。またトルコの動きが不気味である。

### オーストリア

このターンも動かないことにした。一応、ミラノが予定通りに軍をこちらに向けているので、それに対する牽制もある。皆の目の前でミラノとの関係悪化の三文芝居を打つ必要もあるし。

それと、真正面からヴェネツィアと戦線を構えると、維持する方が大変というのもある。ヴェネツィアの買収目標がはっきりしないのも怖い。結局、FRIが解散させられ、少し苦しい形になった。

### フィレンツェ

セルフスタンドオフで守るついでに、こっそりAREの軍隊でURBを狙う事にした。

### フランス

取り敢えず嵐の前の静けさの季節。

### ミラノ

疫病でCOMOが飛ぶ。それなりに痛い。だが、オーストリアに喧嘩を売るような動き

をするのには好都合だった。この間延々とオーストリアと我が国のあいだで猿芝居が繰り広げられていた。

#### ナポリ

軍を北上させようとした普通の行動。対トルコは神頼み。

#### 教皇領

##### 交渉

ヴェネツィアに再びFERの陸軍をURBに輸送する事を頼む。トルコと対ナポリ共同戦線の約束。買収するTSの海軍がNAPに入港しトルコ海軍がTSに入ることで合意。

##### 結果

ここは大ミス。買収したTSの海軍はSPOの陸軍のROME行きをサポートすべきであった。

結局、ナポリとは泥沼。

#### トルコ

弱りきってしまった教皇領とヴェネツィアと三者で話す。この段階では正統的戦略だろう、ということでナポリを食うつもりで話しを始め、その方向でまとまる。春に話したTSへ我が軍が入る話しがまとまり、T's F SAR-TS を約束。この行動は成功し、NAP が教皇領の手に渡る。

#### ヴェネツィア

トルコと話がつき、DALを返してもらおう。

PADは年内は教皇領の物にしておくことにまとまる。VENを取られることを予想していなかったからなあ……。

オーストリアの軍隊が一つ飛んだので、TRE 奪回の計画が現実性を帯びる。

## 行動計画

オーストリア : (K) 18d UA, F UA-VEN, A CARIN-FRI, A TYR H, A AUS-CARIN

フィレンツェ : × A BOL-FLO, × A SIE-FLO, A ARE-URB,

A GEN S Milan A MON-SAV, × F LS-TS

フランス : × A SAV S A TUR S, F GOL H

ミラノ : (K) 21d TUR, A MON-SAV,

A COMO-TUR, A TUR-AVI, A MAN H

ナポリ : × F PAL -TS, × F CAP-ROME,

× F GON-NAP, F AQU H, F MES-OTR

教皇領 : × A FER-URB, × A SPO-ROME,

× F GON-NAP,

× F NAP S Turks F TS S Papacy A SPO-ROME

トルコ : F LA-UA, F ALB-LA, A DUR-COR,

F IS C A DUR-COR, F CM C A DUR-COR,

F WM C A DUR-COR, F TS C A DUR-COR

ヴェネツィア : F FRI-TRE, F DAL H

退却 : A SAV=G

## 裏切りの季節



## 1457年秋

# CORのトルコ陸軍はDURより輸送された。

## 策謀渦巻くイタリア半島の勝者は誰だ？

オーストリアがUAのヴェネツィア海軍を買収しつつにVENに突入。これでヴェネツィアは苦しいか。さらにミラノがついにフランス侵攻を開始した。

### オーストリア

トルコにUAの領有権を与える代わりに6dもらう。同じく、ミラノから4dもらう。さらに銀行から5d借りる。これで準備は整った。ヴェネツィアに致命的打撃を与えるにはこの方法しかない。

ヴェネツィアのUA海軍を買収成功。そのまま、VENを踏む。これでヴェネツィアの国力は半減した。そのまま、次の年にヴェネツィアの全ての本国領土を陥落させる予定だ。

ミラノがフランスの軍を買収し、侵攻。こちらに買収をかける可能性もあったので、冷や冷やしていたが、動いてしまった以上、最後まで動かなくてはならない。そして、最後まで動くにはオーストリアとの関係を友好に保たなくてはならないので、ヴェネツィア戦にもサポートをくれることだろう。

### フィレンツェ

教皇領がナポリに対して買収をかけてきたので、こちらに買収をかける余裕はあるまいと一安心。トルコと教皇領から、ROME奪回に協力してくれるよう要請があった。ナポリを見限って了承する振りをするが、逆にサポートを切って妨害するつもりだった。ナポリにはまだ教皇領を潰す為に残って貰わないと困るので。

ミラノから、SAV侵攻のサポートをして欲しい、との「あくまでビジネスの」提案があった。その分GENの分け前は要らないとの事なので協力を約束する。これでフランスを見限れる為GENの収益は独占でき、

万々歳である。その会談直後にフランスからミラノとの会談について尋ねられ、「北方のオーストリア戦の間、後を守っておいてくれとの事」だと平然と嘘をつく。ほんのちょっぴり心が痛んだがこれも外交(笑)。

### フランス

オーストリア、ミラノ、フィレンツェが会談をしているのを見て不安にかられる。

あの3国が話し合うのってうち相手のとき以外には考えられない、というので配置を眺める。MONとTYRが踏み込んできても多分大丈夫。

でも、怖いので(金も持って行ってるし)買収防御でもかけるかと考えるが、ミラノが攻めてきたらそれは確実にオーストリアと組んでいるだろうし、多分フィレンツェも組んでいるだろう。

そしてこたく氏、師匠、らんさん相手にすると分かっているうちに協力してくれるプレイヤーがあるかなと考えて絶望する。

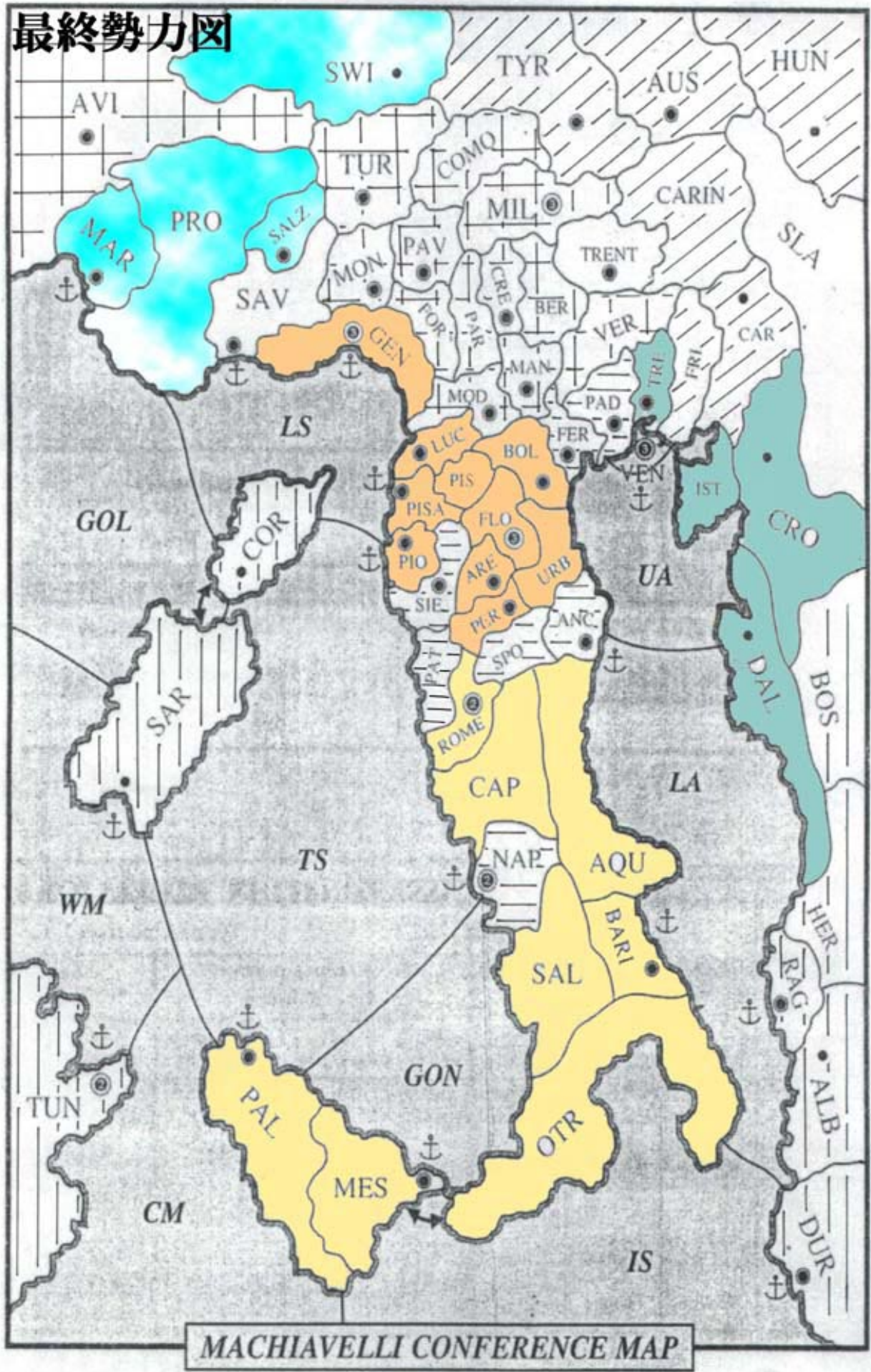
で、結局裏切られたら終わりだよな～信じようぜ～ということになり見事裏切られる。

しかし、トルコまで動くとは全くの予想外だった(;\_;) )

### ミラノ

このターンいきなりオーストリアからヴェネツィア軍買収の資金提供を求められる。もの凄く嫌な感じがする。我が国に使われたら洒落にもならない。が断るのはまずいので4dほど融資する。この時点で単独フランス侵攻を決意する。オーストリアが我が国を裏切るならフランスと手を組むだろう。それならば攻撃しやすいフランスを先に攻撃するべきだ。というわけでまずフィレンツェに支援を求める。GENのフィレンツェ単独領有を認めることを条件に支

# 最終勢力図



MACHIAVELLI CONFERENCE MAP

## 策謀渦巻くイタリア半島の勝者は誰だ？

援を取り付ける。ついでにフランスをだまくらかして金を頂く。

結局オーストリアは裏切らずフランスへの侵攻は成功した。トルコが何故かフランス領CORを占領しているのには笑ったがこれは偶然である。

### ナポリ

前ターンTS海軍買収される。やられた。買収がくるなら秋ターンだと思っていたので、非常に痛い。即、滅亡に結びつくとは思わなかったが、結局ROME攻めが仇となったことに肩を落とした。

仕方なくこのターンは防衛行動に出るしかなかった。

### 教皇領

#### 交渉

ナポリとのROMEとNAPの交換交渉も、疑心のため決裂。

#### 結果

トルコの裏切りにより、TS海軍がサポートせずROMEは落ちず。

### トルコ

オーストリアからヴェネツィアを滅ぼすのに協力して欲しいと持ち掛けられる。買収資金を提供し、T's F LA-UAを行って欲しいという話だ。結局これに乗る。つまり、夏に協力した教皇領とヴェネツィアを裏切るという事である。

.....ま、どっちに協力してもイタリア半島に上陸できない以上、領土も増えない。という訳で、ナポリをこの段階で滅ぼす選択よりも、ヴェネツィアを選んだのである。オーストリアと積極的に交戦するのが互いに難しいことも理由の一つだったが。

6dをオーストリアに譲渡する。.....結果的には6dの損だが.....まあ、最悪の選択ではなかったからよし。

これといってやる事がなかったので、「秋は収穫の季節だ」と、SAR占領を遊んでいるDURの陸軍でやることを『思いつく』。海軍全部隊による輸送作戦を敢行。その上成功だ！

まさにイタリアの海は俺の海。

### ヴェネツィア

でででーん。買収するだけの資金があったのね.....。

## 各国元首の感想

### オーストリア

以上をもってゲームは終了したが、オーストリアとしてはヴェネツィアの完全征服。その後、フィレンツェと組んでの対ミラノ戦となるだろう。南ではナポリも教皇領も苦戦しているので、フィレンツェとうまく組めれば勝機も出てくる.....といったところか？

### フィレンツェ

こうして1457年が終わった訳だが、フィレンツェとしてはかなり良い形で進んでいる。今後はGENの独占を条件にフランスを支援、オーストリアとも手を組んでミラノを圧迫。南は教皇領とナポリのバランスを見ながら、トルコの侵攻を喰い止めてくれるよう2ヶ国を支援し、少しずつ版図を広げていく形になったであろう。

### フランス

全体的に見ると消極的な外交、慎重すぎる行動がいけないと思います。

ミラノに対して圧力外交を仕向けるならとにかく、ミラノに圧力外交されるのは問題外って感じ(;\_;)

また、軍の維持数も少ないのは問題だと思ふ。少なくともミラノに喧嘩を売ってでもTURに軍を置いて、フィレンツェ、オーストリアの協力を仰いで先に叩くべきだったと思います。オーストリアがヴェネツィアに忙しい時にオーストリアに動かないようお願いしてフィレンツェと共に攻めても良かった気がします。

これからの行動としてはMARに陸軍を生産、AVIの陸軍を買収でもして、徐々に領地を回復して行くしかないでしょうが、フィレンツェ・ミラノ・オーストリア・トルコが敵に回っている以上、フランスの未来は短いでしょう。

#### ミラノ

ここから先の展開は良く分からないがオーストリアと戦うのは間違いないだろう。おそらく泥沼になるだろうがそれほど不利にはならないと思う。あとはどれだけ他国を味方に付けられるかにかかっているだろう。

ありがちな展開ではオーストリア - フィレンツェ - フランス - 対ミラノ - トルコ - ヴェネツィアでナポリが鍵を握るということになるのではないだろうか。

今回のプレイではいろいろな要素がからまって他国にマークされなかったので随分楽ができた。問題だったのはいつオーストリアが裏切って攻めてくるのかという点だけ。

まあ、たまにはこんなミラノもいいかな、と。

#### ナポリ

今回はトルコの動きが少なかったのですが、展開としては比較的楽に進めたが、今後の展開を考えると頭が痛い。フィレンツェの資金が乏しい状況となつては、教皇領・トルコの共同戦線が目に見えている。それも

これも、教皇領攻めの中途半端さからくるものだろうと思う。一番積極的に動かなければならない時期に動かなかつたのは痛恨のミスだった。このミスで、ナポリの運命も定まった。トホホ...

それにしても、ヴェネツィアがあつさりやられたのは以外だった。あとオーストリアの展開にも関心させられた。いろいろと勉強になったプレーだった。

#### 教皇領

結局、異教徒と馴れ合った事による主による天罰か、疫病で陸軍が消滅し、そこから我が崇高なる望みが瓦解してしまった。ああ、懺悔(笑) 騙されまくっている。あまり向かないのかなこの手のゲーム(^;;; 交渉が苦手なんだよ。

#### トルコ

結局トルコとしては、今回のプレイはナポリとの冷戦に尽きるだろう。おかげで互いに何もできなかった。こうなった理由はナポリのプレイヤーと、互いに逆の立場~つまり私がナポリ・彼がトルコ~でプレイした経験があつた為だろう。お互いの気持ち痛いほど分かるのだ(笑)。また、LAに教皇領の海軍がいたことが意外にこれを助長する結果になった。ヴェネツィアを教皇に牽制してもらつてもりてLAの領有を認めたのだが、これがこういう結果に結びつくとは.....おかげで冷戦状態が続く。

が、トルコとしては悪い展開ではないだろう。最終的にアドリア海とティレニア海を両方とも手に入れているし、維持できなくても、LAさえ失わなければよい。影響力を持ちつつ、北部での動きとナポリの疫病を待つという相変わらずの戦略をとれば、OTR 辺りに上陸する機会が訪れるに違いないからだ。

## 策謀渦巻くイタリア半島の勝者は誰だ？

ヴェネツィア

この後はVENをどうにかして奪還し……  
という感じでいくのかなあ。他の国の出方  
しだいでどうとでも転ぶし。自業自得とは  
言え余り考えたくないというのが正直な感  
想だったりして。

それにしても……今回はやたらと致命的  
なミスが多かった……。反省。

**徳は狂暴に対して武器を取り、  
速やかに戦いを終えん。  
昔ながらの勇気は、  
イタリア人の心に  
まだ亡びざるがゆえに。**

***fin***